

2004年度

# M6カリキュラム

## 臨床実習

臨床実習、公衆衛生実習、  
総括講義、CPC

2004年4月～2005年2月

1999年入学第26回生用

筑波大学医学専門学群

## 病 院 実 習 時 の 基 本 的 態 度

- ・ 病院は社会そのもの！ 学生気分を捨て社会人1年生として挑むこと。
- ・ 朝夕の挨拶、身だしなみ、髪型なども社会人としてみられていることを自覚すること。
- ・ 病気で悩んでいる患者さん、医師、看護師、スタッフの立場でも必ず考えること。

## 筑波大学医学専門学群の教育目標

筑波大学医学専門学群学生の卒業時点での到達目標は、基本的な臨床能力および基礎的な医学研究能力をそなえた医師である。

すべての卒業生はここから出発して、将来すぐれた医師(一般臨床医・専門医)、医学教育者、医学研究者あるいは保健・医療・福祉行政者として、それぞれの分野で医学を通して社会に奉仕し貢献することが期待される。

この教育目標に向って、学生は学習行動において次のことが要求される。

1. 人間個体はもちろん、地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識と技能を身につける。
2. 患者に対する医師としての責任感、倫理感を養い、正しい態度、習慣を身につける。
3. 生涯にわたり学習・研究を続けるために、自己開発の能力、自己評価の習慣を身につける。
4. チーム活動において協調し、建設的に行動できる態度と習慣を身につける。

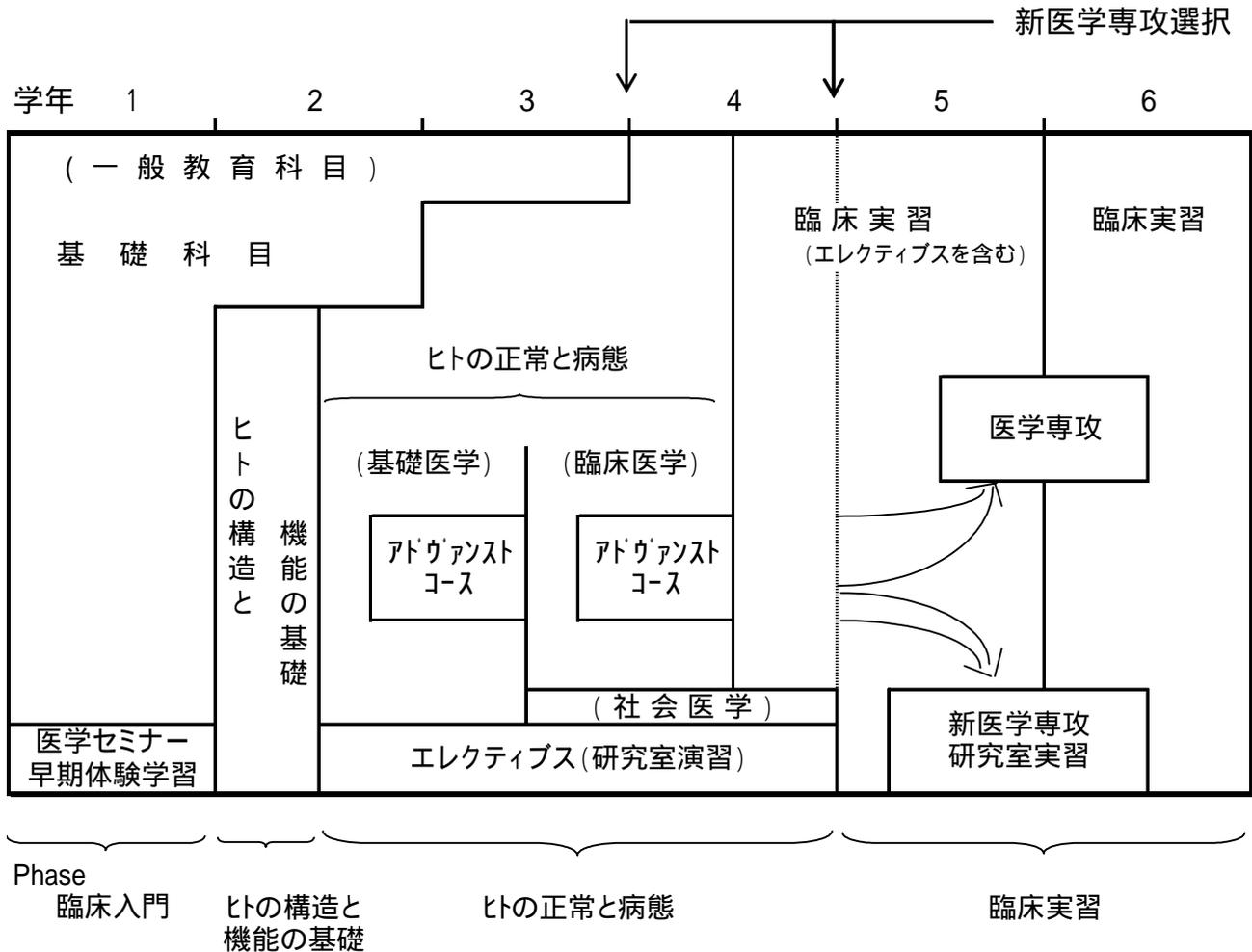
## 目 次

第 6 年次カリキュラムの概要	1
臨床実習	2
1. オリエンテーション	2
1.1 対 象	2
1.2 実習内容	2
1.3 臨床実習の教育協力病院等	2
1.4 学内臨床実習	2
1.5 研究室実習(基礎・社会医学)	2
1.6 Coordinator	2
2. 臨床実習等	4
2.1 一般学習目標	4
2.2 実習内容	5
2.3 グループ別履修表	6
2.4 学生別履修表・エレクトィブ履修表	7
2.5 病院別履修表	20
2.6 教育協力病院等の所在地と連絡先	48
2.7 コース#1 一般臨床内科	50
2.8 コース#2 一般臨床外科	74
2.9 コース#3 小児臨床	95
2.10 コース#4 婦人・周産期臨床	105
2.11 コース#5 精神臨床	114
2.12 コース#6 研究室実習	119
2.13 大学附属病院実習	122
2.14 臨床実習の一般的注意	139
2.15 評 価	140

3 . E l e c t i v e s -----	141
3・1 一般学習目標 -----	141
3・2 学習方法 -----	141
3・3 評 価 -----	141
4 . 公衆衛生実習 -----	142
4・1 履修期間 -----	142
4・2 一般学習目標 -----	142
4・3 学習目標 -----	142
4・4 学習グループ -----	142
4・5 実習施設 -----	142
4・6 評 価 -----	142
4・7 公衆衛生実習の注意事項 -----	143
5 . 総括講義 -----	146
5・1 一般学習目標 -----	146
5・2 学習方法 -----	146
5・3 学習内容 -----	146
5・4 評 価 -----	146
6 . 臨床病理検討会 ( C P C ) -----	155
6・1 一般学習目標 -----	155
6・2 学習方法 -----	165
6・3 学習内容 -----	165
6・4 評 価 -----	165
卒 業 試 験 -----	166
1 . 卒業試験の目標 -----	166
2 . 出題範囲 -----	166
3 . 試験方法 -----	166
4 . 試験日程 -----	166

## 第6年次カリキュラムの概要

筑波大学医学専門学群における第6年次学生のカリキュラムは、6年一貫教育のPhase に相当し、臨床実習(又は研究室実習)、公衆衛生実習、総括講義、CPCと卒業試験が組み込まれている。



# 臨床実習

## 1. オリエンテーション

- このカリキュラムは、医学専門学群第6年次学生を対象とするものである。
- 前期カリキュラムは3つのコースに分かれている。
  - 学外教育協力病院実習コース(Electives、海外実習を含む)
  - 筑波大学附属病院臨床実習コース(Electives は希望者のみ)
  - 研究室実習コース(新医学専攻)  
後期は総括講義及び臨床病理検討会(CPC)により成り立っている。
- 学外臨床実習は次の教育協力病院等において行う。  
北茨城市立総合病院、日立総合病院、栗田病院、水戸赤十字病院、水府病院、国立水戸病院、  
水戸済生会総合病院、水戸協同病院、県立こども病院、石崎病院、県立中央病院、  
県立友部病院、県西総合病院、土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院、  
豊後荘病院、鹿島労災病院、国立精神・神経センター国府台病院、都立墨東病院、  
三井記念病院、東京厚生年金病院、国立国際医療センター、日本赤十字社医療センター、  
都立広尾病院、河北総合病院、大和徳洲会病院  
海外協力病院
- 学内臨床実習は筑波大学附属病院において行う。
- 研究室実習は筑波大学基礎医学系又は社会医学系において行う。
- Coordinator の氏名は以下のとおりである。  
このカリキュラムについて不明の点があれば、各 Coordinator 又は学務担当(0298)53  
- 3018 に問い合わせること。

総 Coordinator	-----	田中直見・朝田隆
教育協力病院、筑波大学附属病院における臨床実習及び研究室実習		
コース#1	一般臨床・内科	----- 小山哲夫
コース#2	一般臨床・外科	----- 金子道夫
コース#3	小児臨床	----- 松井陽
コース#4	婦人・周産期臨床	----- 吉川裕之
コース#5	精神臨床	----- 朝田隆
コース#6	研究室実習	----- 永田恭介・山田信博
Electives	-----	田中直見・朝田隆
CPC	-----	野口雅之・附属病院長

総括講義及び試験

コース#1	運動系臨床	落合直之
コース#2	眼系臨床	大鹿哲郎
コース#3	耳鼻咽喉系臨床	原 晃
コース#4	皮膚系臨床	大塚藤男
コース#5	精神臨床	朝田 隆
コース#6	呼吸系臨床	関沢清久・鬼塚正孝
コース#7	循環系臨床	山口 巖・榊原 謙
コース#8	消化系臨床	田中直見・大河内 信弘
コース#9	血液系臨床	長澤俊郎
コース#10	自己免疫系臨床	住田孝之
コース#11	神経系臨床	庄司進一・松村 明
コース#12	内分泌代謝系臨床	山田信博・植野 映
コース#13	腎・泌尿系臨床	小山哲夫・赤座英之
コース#14	診断治療総論	齋田幸久・川上 康
コース#15	診断治療総論	豊岡秀訓・中山凱夫
コース#16	小児臨床	松井 陽・金子道夫
コース#17	婦人・周産期臨床	吉川裕之・臼杵 哲
コース#18	人間集団医学	大久保一郎・戸村成男
コース#19	感染症	人見重美
コース#20	医療総論	田中直見・朝田 隆

## 2. 臨床実習等

### 1 一般学習目標(GIO)

#### (技能)

- 1) 一般診療の基本的技能を習得する。
- 2) 患者の問題を正しくとらえ、それを自ら解決する能力を身につける。
- 3) チーム診療を理解し、診療チームの一員として行動する能力を身につける。
- 4) 多数の病像を体験し、診断、治療技術の向上をはかる。
- 5) 家庭医としての基本的技能を習得する。
- 6) 特殊診療の基本を理解する。

#### (態度、習慣)

- 7) 患者を全人的に把握し、患者から医学を学ぶ態度を身につける。
- 8) 医師としての倫理的原則を理解する。
- 9) 職業に対する責任感を培う。
- 10) 医師に必要な習慣を身につける。

#### (知識)

- 11) 臨床医学を総合的に学び、医学の進歩に対応できる知識と能力を習得する。
- 12) 家庭医に必要な診断、治療および予防の基礎的知識を習得する。
- 13) 地域医療を理解し、地域の保健、医療に対し正しい展望をもつ。
- 14) 病人に対するすべての社会的救済法を学ぶ。

#### 学外教育協力病院における臨床実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 大学病院で経験するより広い臨床分野を学習する。
- 2) 大学病院の実習を補い、さらに十分な臨床例を多数経験する。
- 3) 各教育協力病院が筑波大学附属病院とは異なる特殊性とその役割を理解し、特殊性についてはその知識と技術を学習する。各教育協力病院等の規則を厳守する。
- 4) 技能については、ことに指導医の指示に従う。
- 5) 地域の保健、医療に対する理解を深める。

#### 筑波大学附属病院における臨床実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 筑波大学附属病院における専門的臨床分野を学習し、多くの臨床例を経験する。
- 2) 筑波大学附属病院における特殊性と役割を理解し、専門分野における知識と技術の基礎を学習する。
- 3) 技能については指導医の指示に従う。
- 4) 臨床研究を理解し学習する。

#### 筑波大学基礎医学系・社会医学系研究室実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 基礎医学・社会医学研究の重要性を理解し、基本となる研究の知識と技術を学習する。

2) 指導教官より各種の技術手技法を習得する。

## 2 実習内容

1) 履修時期:平成16年4月1日(木)から6月11日(金)まで。

2) 実習領域と履修期間

A)学外教育協力病院臨床実習コース

一般臨床内科2週、一般臨床外科2週、小児臨床1週、婦人・周産期臨床1週、  
精神臨床1週

B)筑波大学附属病院臨床実習コース

M5BSLに引き続き、2週単位で診療科を選択。

C)研究室実習コース(新医学専攻)

基礎医学系、社会医学系より1研究グループを選択。

2・3 グループ別履修表

各グループ別の履修日程を示した。

2・4 学生別履修表・エレクトィブ履修表

各学生の履修日程を示した。

2・5 病院別履修表

実習病院別の履修学生名簿を示した。

2・6 教育協力病院等の所在地と連絡先

教育協力病院の所在地、電話番号、連絡責任者および交通の便を示した。

## 2・3 グループ別履修表

週 期間 グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	備考	
		4/ 1 }	4/ 5 }	4/12 }	4/1 }	4/2 }	5/ 6 }	5/1 }	5/1 }	5/2 }	5/31 }	6/ 7 }	6/1 }	6/2 }		
		4/ 2 (2日)	4/ 9 (5日)	4/1 (5日)	4/2 (5日)	4/3 (4日)	5/ 7 (2日)	5/1 (5日)	5/2 (5日)	5/2 (5日)	6/ 4 (5日)	6/11 (5日)	6/1 (8日)	6/2 (8日)		
A	3 月 22 日 (月) ガイ ダン ス	自己学習	内科		外科		自己学習	小児 婦人	婦人 小児	エレクトティブ		精神			7/1 (木) OSCE	
B		自己学習	外科		婦人 小児	小児 婦人	自己学習	エレクトティブ		精神	内科					
C		自己学習	小児 婦人	婦人 小児	エレクトティブ		自己学習	精神	内科		外科					
D		自己学習	エレクトティブ		内科		自己学習	外科		小児 婦人	精神	婦人 小児				
E		自己学習	筑波大学附属病院実習 〔エレクトティブ(2週)は希望者のみ〕													
F		研究室実習 (新医学専攻)														
G		海外実習														

公衆衛生実習

## 2・14 臨床実習の一般的注意

### A 心構え

臨床実習は多数の患者さんを対象とし、病院という複雑な機構の中で行われるので、次のような心構えが必要である。

- 1) 患者さんは苦痛や悩みをもった一人の人格であり、一般社会人である。患者さんに接する際には、生命に対する敬虔な気持と温かい思いやりを持って、“診断させていただく”という謙虚な姿勢を示すことが大切である。かりそめにも、患者さんを material として扱うようなことをしてはならない。
- 2) 病院では、患者さんの健康を回復させるために、医師、看護師、医療技術者および事務職員等が緊密な連携のもとに、日夜真剣に働いている。学生にはこのような病院の使命と機能を十分に理解し、そのチームワークを妨げないよう、つねに病院のルールと指導医の指示に従って行動しなければならない。

### B 具体的注意事項

#### (服装)

- 1) つねに身なりを整え(服装・髪型)、患者さんに不快な印象を与えないようにする。
- 2) 診察着はいつも清潔なものを着用すること。
- 3) 学群の指定する学生用名札を診察着の胸ポケット上部に着用すること。
- 4) 病院内では原則として上履にはきかえること。はきものは音のしないゴム底のものが望ましい。
- 5) つねに聴診器、腱反射用ハンマー、ペン型ライトを携行すること。

#### (持参すべき物)

- 6) 保険証及び医学生総合補償制度加入者票のコピー。
- 7) 各種抗体やワクチン接種の有無を自分で記載したもの。
- 8) 実習で経験してきたことを実習先に提示できるように簡単に記載したもの。

#### (患者さんとの対応)

- 9) 病室で受持ちの患者さんをはじめて診察するときは、自分の名前を告げ、挨拶をすること。
- 10) 朝の挨拶をすること。
- 11) 患者さんにわかる言葉で話をする。
- 12) 不用意、不注意な発言を慎むこと。
- 13) 患者さんの話に耳を傾け、聞き上手になること。
- 14) 患者さんの訴え(言葉の表情)に対し、よき理解者となること。患者さんの訴えは細大もろさず主治医に報告すること。
- 15) 検査データ、薬剤の種類など診断、治療、予後に関することは、勝手に患者さんに説明しないこと。

#### (診療)

- 16) 診察前に手洗いまたは手指の消毒を励行すること。
- 17) 毎日、朝夕最低2回は患者さんを診察すること。
- 18) 朝の診察は原則として主治医の診察の下に行うこと。
- 19) 診察は真剣に、謙虚に、誠意をもって行うこと。
- 20) 患者さんの嫌がる部位は最後に診察すること。
- 21) 診察の結果を患者さんの前で無闇に口にしないこと。

#### (守秘義務)

- 22) 診察上知り得た患者に関する情報は決して他人にもらしてはならない。

(整理整頓)

23) ナースステーション、処置室、医師室、検査室においては、資料、図書、器具などを使用後速やかに所定の位置に戻す習慣を身につけること。

24) 私物は原則として病院内へ持込んでではない。

(その他)

25) 診察 area では喫煙を禁じられている。診察 area 以外でも、病院内では歩行中喫煙しないこと。

26) 病院内では、食堂以外の場所で飲食しないこと。

27) 時間を厳守すること。実習は夕方5時で終了するとは限らない。

28) 当直でなければ経験できないこともあるので、積極的に参加すること。

29) 欠席、遅刻、早退するとき、体調のすぐれないとき、または所定の場所を離れるときは、主治医または指導医に必ず連絡すること。

30) 実習中は受け身にならず積極性をもってあたること。

31) 所定の実習時間以外に病院を利用したときは指導医に願い出て、許可を受けること。

32) 病院の電話を私用に使ってはならない。

33) 実習中は、携帯電話・ポケットベル等のスイッチは必ず切っておくこと。

## 2・15 評価

### 1) 教育協力病院の指導医の評価

知識、技能、態度、総合評価の評価を記入した評価表が教育協力病院の指導医から総 Co-ordinator に送付される。評価は次の共通の基準により、「良い・普通・悪い・特に悪い」の4ランクに分けて行われる。

知識 臨床医学全般に関する常識。症状・診断・治療に関する知識。専門用語の理解。

技能 患者面接の技能。病歴を聴取し記載する技能。診療技術全般

態度 実習における積極性。実習生としての服装。時間の遵守。患者に対する礼儀、態度、言葉遣い。指導医・その他の医療従事者に対する礼儀、態度。

総合評価 知識・技能・態度の評価と出席日数をもとに総合的に評価

良 い: 第6年次学生として期待以上

普通: 第6年次学生として期待どおり、標準並

悪い: 第6年次学生として期待より劣る

特に悪い: 医師となるものとして不適格なほど悪い

### 2) レポートによる評価

学生は実習終了後、6月25日(金)16時までに下記の書類を学務担当へ提出すること。

『期待される医師像』という課題で、A4判2～3枚程度(1200字以内)のレポート

臨床実習経験症例表(各診療科ごと)

M6実習に関するアンケート

### 3) 試験・面接による評価

7月1日(木)OSCE実施 詳細については、掲示する。

### 3 . Electives

#### 3・1 一般学習目標

- 1)各自希望する領域の見学・実習を行い、卒後進路の決定に資する。
- 2)各自希望する事項を研修し、知識・技能の弱点を補強する。

#### 3・2 学習方法

- 1)教育協力病院実習のない週に行う。
- 2)筑波大学以外の施設における見学・実習は、総 Co-ordinator の指導を受けて行う。
- 3)筑波大学における Electives は、当該事項に関係する教官の指導を受けて行う。

#### 3・3 評価

学生は6月25日(金)16時までに所定の Electives 報告書を学務担当に提出すること。

#### 4 . 公衆衛生実習

Coordinator : 大久保一郎  
戸村 成男

##### 1 履修期間

平成16年6月14日(月)から6月23日(水)までの期間(土曜・日曜を除く)とする。(ただし、6月14日(月)はオープニングセミナー、6月23日(水)は公衆衛生実習発表会を行う。)

##### 2 一般学習目標

地域における公衆衛生活動に参加し、疫学的アプローチ・環境調査・食品衛生・健康管理及び保健・医療・福祉の連携の実際を学ぶ。

##### 3 学習目標

公衆衛生活動において、予防活動の実際の展開の方法及び過程を理解する。

地域の予防活動や保健・医療・福祉の連携を行う上での関連諸機関の組織的な取り組み方、指導方針等を理解する。

そのための具体的な各種業務の展開の仕方を理解する。

将来における公衆衛生活動の展望について検討する。

##### 4 実習グループ

2～8人の学生が1グループを編成する。(表1)

##### 5 実習施設

水戸保健所	銚田保健所	潮来保健所	日立保健所
竜ヶ崎保健所	土浦保健所	大宮保健所	ひたちなか保健所
つくば保健所	下館保健所	水海道保健所	古河保健所
茨城県精神保健福祉センター		茨城労働局	茨城県衛生研究所
東京都立精神保健福祉センター			

##### 6 評価

評価は次の基準によりA・B・C・Dの4ランクに分けて、社会医学系教官が行う。評価の方法は、実習に参加した態度、並びに提出されたレポートに基づき、公衆衛生活動のあり方、それに対するアプローチ、調査結果の分析等の理解力、実行力を試すこととする。

A:優れている B:普通 C:劣る D:著しく劣る

レポート

公衆衛生実習の成果を各グループ毎に作成(A4判ワープロ打ち 10 枚～15 枚程度)し、8月27日(金)17時までに学務担当へ提出すること。

(提出前に、レポートの内容について各グループ担当教官の校閲を受けること。)

## 7 公衆衛生実習の注意事項

1. 保健所等の使命と機能を十分に理解し、チーム・ワークを妨げないよう、つねに保健所等のルールに従って行動すること。
2. 実習にあたっては、指導医又は指導職員の指示に従って行動すること。
3. 服装はきちんとすること。
4. 学群指定の学生用名札を胸ポケット上部に必ず着用すること。
5. 時間を厳守すること。
6. 欠席・遅刻・早退するときは必ず事前に連絡すること。
7. 交通安全に十分注意すること。
8. 実習中は、携帯電話・ポケットベル等のスイッチは必ず切っておくこと。

## 5. 総括講義

### 5.1 一般学習目標

医学専門学群の統合カリキュラムの最終段階において、これまでの学習により得た知識と技術を臨床医学各領域および社会医学の立場から総括し、医師として必要な基本的臨床能力を身につける。

### 5.2 学習方法

- 1) 臨床講義室において第6年次全学生を対象として行われる。
- 2) 授業時間は別紙時間割表による。

### 5.3 学習内容

別表の通りコース#1～コース#20が行われる。

### 5.4 評価

総括試験

#### コース#1 運動系臨床

Coordinator: 落合 直之

学習項目	Keywords
脊柱・末梢神経・筋の疾患外傷	変形性脊椎症、側弯、椎間板ヘルニア、麻痺像、Seddon 分類、絞扼性神経障害、阻血性拘縮、脊髄損傷
上肢の疾患・外傷	肩周囲炎、腱板損傷、外反肘、内反肘、手指変形、intrinsic plus、肩脱臼、顆上骨折、外顆骨折、Monteggia 骨折、Colles 骨折、舟状骨骨折
下肢の疾患・外傷(1)	強直性脊椎炎、骨盤骨折、先天性股関節脱臼、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、大腿骨頭壊死症、股関節炎、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折、外傷性股関節脱臼、半月板損傷、前十字靭帯断裂、変形性膝関節症、コンパートメント症候群、疲労骨折、先天性内反足、外反母趾、アキレス腱断裂、足関節捻挫
下肢の疾患・外傷(2)・腫瘍・感染・系統疾患	骨軟骨腫、内軟骨腫、骨巨細胞腫、骨嚢腫、骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing 肉腫、転移性骨腫瘍、脂肪腫、神経鞘腫、ガングリオン、化膿性骨髓炎、化膿性関節炎、骨・関節結核、軟骨無形成症、脊椎骨端異形成症、骨形成不全症、大理石骨病、多発性骨端異形成症、骨粗鬆症、骨軟化症、くる病、上皮小体機能亢進症

コース # 2 眼系臨床

Coordinator: 大鹿 哲郎

学習項目	Keywords
屈折異常、白内障	屈折異常の種類、発生機序、光学的矯正、手術療法、水晶体疾患
網膜硝子体疾患	糖尿病網膜症、網膜剥離、眼内異物、眼球破裂、網膜中心静脈閉塞症、網膜中心動脈閉塞症
角結膜疾患	角膜炎、結膜炎、角膜変性症、円錐角膜、角膜移植
緑内障	緑内障の種類、病態、点眼薬、手術療法

コース # 3 耳鼻咽喉系臨床

Coordinator: 原 晃

学習項目	Keywords
急性及び慢性中耳炎	難聴、耳痛、ティンパノグラム、伝音難聴
めまいと難聴	聴力検査、めまい検査、誘発電位
慢性副鼻腔炎その他	病態的局所解剖診断法、治療法
頭頸部腫瘍と再建手術	手術、抗がん剤・放射線・有茎良弁

コース # 4 皮膚系臨床

Coordinator: 大塚 藤男

学習項目	Keywords
炎症性角化症	乾癬、PUVA
水疱症	皮膚免疫、蛍光拮体法
母斑、母斑症	奇形、良性腫瘍、遺伝
悪性黒色腫	悪性腫瘍、色素、TNM 分類

コース #5 精神臨床

Coordinator: 朝田 隆

学習項目	Keywords
内因性精神障害	統合失調症(精神分裂病)、躁うつ病、非定型精神病
心因性精神障害	神経症、心身症、摂食障害、人格障害
身体因性精神障害	器質性精神障害、症状性精神障害、中毒性精神障害
精神科治療	抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、精神療法、電気ショック療法、社会療法

コース #6 呼吸系臨床

Coordinator: 関沢 清久、鬼塚 正孝

学習項目	Keywords
呼吸器感染	細菌性肺炎、MRSA 肺炎、マイコプラズマ肺炎、肺真菌症、pneumocystiscarinii 肺炎、おうむ病、抗酸菌感染症、非定型抗酸菌感染症
気管支病変	慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎、BOOP
肺実質病変、吸入性肺疾患	肺気腫、特発性間質性肺炎、過敏性肺炎、肺線維症、塵肺症、呼吸不全、HOP
肺腫瘍	原発性肺癌、良性肺腫瘍、転移性肺腫瘍
肺循環障害	肺水腫、肺塞栓、原発性肺高血圧症、肺性心
全身性疾患にともなう肺病変・胸膜疾患	肺サルコイドーシス、肺胞蛋白症、膠原病の肺病変、Goodpasture 病、胸膜炎、胸膜中皮腫、気胸
呼吸器疾患の外科的治療とくに肺癌治療の現況	開胸術、肺切除術、肺葉切除術、肺摘除術、胸腔ドレナージ、気管切開術、標準開胸術、肺癌(気管支癌)、肺癌組織型、肺癌の TNM 分類、肺癌縮小手術と拡大手術、胸腔鏡下手術
縦隔腫瘍とくに胸腺腫の臨床	胸腺腫、重症筋無力症、奇型腫、先天性嚢腫、神経系腫瘍、胸腔内甲状腺腫
気管支鏡検査と細胞診	気管支ファイバースコープ、喀痰細胞診、サコマノ法、気管支生検

学習項目	Keywords
急性心機能不全の臨床的評価	心臓性ショック、低心拍出量症候群、うっ血性心不全、肺性心、中心静脈圧、肺動脈(楔入)圧、心拍出量、Swan-Ganzカテーテル、補助循環
慢性心不全の成因と治療	圧負荷、容積負荷、心筋収縮力、不整脈、低塩食、ジギタリス、利尿薬、不応性心不全
心電図のよみ方、不整脈の診断と治療	左室肥大、心筋梗塞、電解質、刺激生成異常、刺激伝導異常、抗不整脈薬、ペーシング、カテーテル・アブレーション
胸部 X 線・心音図・心エコー図	収縮期雑音、拡張期雑音、M モードエコー図、心断層図、ドップラー
虚血性心疾患の診断と治療	狭心症、心筋梗塞、抗狭心症薬、リハビリテーション、手術適応、冠状動脈血行再建術、心室中隔穿孔閉鎖術、心室瘤切除術、大動脈内バルーン・パンピング(IABP)
弁膜症の診断と治療	心雑音、心エコー図、心血管造影法、手術適応、弁置換術、人工弁、弁形成術
先天性心疾患の診断と治療	心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、肺動脈弁狭窄症、Fallot 四徴症、成人の先天性心疾患、手術適応、低酸素血症、肺血流量、姑息的手術、短絡手術、開心根治手術、人工心肺
心筋症・心内膜炎、心膜炎	リウマチ性心内膜炎、感染性心内膜炎、急性心膜炎、慢性心膜炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、心筋炎、左房粘液腫、続発性心筋疾患
高血圧の病態と治療	高血圧の分類、二次性高血圧、重症度、眼底所見、脳・心臓・腎の合併症、降圧薬の種類と作用点、降圧薬の副作用、降圧薬の選択
血管疾患の診断と治療	大動脈瘤、閉塞性動脈疾患(急性・慢性)、間歇性跛行、安静時疼痛、潰瘍、脱疽、閉塞性静脈疾患、下肢静脈瘤、Homan's sign, Trendelenburg テスト、血栓(内膜)摘除術、交感神経節切除術、血行再建術、ストリッピング、人工血管、自家静脈グラフト

学習項目	Keywords
食道癌と胃癌	早期食道癌、進行食道癌、早期胃癌、進行胃癌、肉腫、肉眼分類、造影検査、内視鏡検査、組織検査、隆起性病変、陥凹性病変、悪性サイクル、Virchow 転移、Schnitzler 転移、Krukenberg 転移、外科的治療、内視鏡的治療、放射線治療、抗癌剤(化学療法)
胃炎と消化性潰瘍	萎縮性胃炎、腸上皮化生、急性胃粘膜病変 (AGML)、Menetrier 病、胃びらん、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、Zillinger-Ellison 症候群、塩酸、壁細胞、ペプシン、ガストリン、ソマトスタチン、粘膜、縦炭酸、血流、プロスタグランジン、H2 受容体拮抗剤、プロトンポンプ阻害剤、攻撃因子、防御因子、非ステロイド性消炎鎮痛剤 (NSAIDs)、 <i>Helicobacter pylori</i> 尿素呼気試験、迅速ウレアーゼ試験、ペプシノーゲン、除菌治療、アモキシシリン、クラリスロマイシン
大腸癌と炎症性腸疾患	大腸腺腫、大腸早期癌、大腸進行癌、直腸指診、大腸内視鏡、注腸造影、免疫便潜血反応、CEA、APC、FAP、Gardner 症候群、Peutz-Jeghers 症候群、Cronkhite-Canada 症候群、EMR、細菌性腸炎、大腸結核、放射線性大腸炎、潰瘍性大腸炎、Crohn 病、IVH、TPN、ED
肝炎・肝硬変	A 型・B 型・C 型肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、薬剤性肝障害、アルコール性肝障害、甲型乙型肝炎硬変、原発性胆汁性肝硬変、ヘモクロマトーシス、食道静脈瘤、高アンモニア血症、肝性昏睡、腹水、特発性門脈圧亢進症、原発性硬化性胆管炎
肝、胆、膵、悪性腫瘍	脂児性蛋白、肝細胞性肝癌、胆管細胞性肝癌、胆管癌、膵癌、インスリノーマ、WDHA 症候群、胆のう小隆起性病変、膵・胆管合流異常
胆石症、膵炎	コレステロール胆石、浮遊胆石、色素胆石、黒色石、コレステローシス、急性閉塞性化膿性胆管炎、アデノミオマトーシス、急性膵炎、慢性膵炎、セクレチン、アミラーゼ、重炭酸塩、PS テスト、膵石症

学習項目	Keywords
食道の外科治療	手術適応、治癒切除、非治癒切除、食道癌手術、食道再建術、食道静脈瘤治療法(非観血的治療法、観血的治療法)、アカラシア手術法、食道裂孔ヘルニア手術法、食道バイパス術
胃疾患の外科治療	縮小手術、標準手術、拡大手術、神経温存、パウチング手術、センチネルリンパ節ナビゲーション手術、腹腔鏡(補助下)手術、姑息手術、術後合併症、胃切除後症候群
小腸・大腸の外科治療	腸管吻合術、小腸切除術、空腸瘻造設術、回腸瘻造設術、虫垂切除術、結腸切除術、直腸癌手術、肛門括約筋温存直腸切除術(高位前方、低位前方)、腹会陰式直腸切除術、Hartmann 術、側方郭清、自律神経温存側方郭清、大腸全摘術、人工肛門造設術、イレウス解除術、直腸癌術後合併症、Dukes 分類、痔核根治術、痔瘻根治術、J型回腸囊肛門(管)吻合術、省庁狭窄拡張術
膵・脾疾患の外科治療	膵癌手術、膵頭十二指腸切除術(Pancretoduodenectomy:PD)、PD 後再建術(Whipple法、Child 法、今永法)、幽門輪温存 PD、膵体尾部切除、リンパ郭清・神経叢郭清、膵液漏、胃内容排出遅延、膵管空腸吻合術、十二指腸温存膵頭切除、下膵頭切除、慢性膵炎手術、膵嚢胞腸管吻合術、急性膵炎手術、膵床ドレナージ、脾摘術
肝・胆道疾患の外科治療	肝切除術、肝ドレナージ術、肝嚢胞手術法、肝予備能、肝移植、胆嚢摘出術、胆道外瘻造設術、内視鏡的胆嚢摘出術、肝外胆管切除術、胆道内瘻術、載石術、十二指腸乳頭形成術、拡大胆嚢摘出術、肝膵十二指腸切除術、集学的治療
術前術後管理	手術侵襲と生体反応、術前状態の評価と管理、術後管理、Vital sign、術後合併症と対策、体液バランス、栄養法(経口、経静脈経腸、高カロリー輸液)、Multiple Organe Failure (MOF)、Disseminated Intravascular Coagulation (DIC)、Systemic Inflammatory Response Syndrome (SIRS)、Second Attack Theory
歯・口腔疾患概論 1	口腔外科、口腔出血、口唇・頬・舌・口腔底の炎症、嚢胞、腫瘍
歯・口腔疾患概論 2	顎骨・顎関節・唾液腺の炎症、嚢胞、腫瘍、顎顔面補綴、兔唇、口蓋裂、顎変形症、顎骨骨折

コース #9 血液系臨床

Coordinator: 長澤 俊郎

学習項目	Keywords
貧血症	赤血球指数、欠乏性貧血、溶血性貧血、不応性貧血
出血傾向	血小板量の異常、血小板質的異常症、凝固異常症、血栓性疾患、抗血栓療法
造血器腫瘍	急性白血病、慢性骨髄増殖症候群、慢性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、骨髄移植、遺伝子治療
輸血の実際	適正輸血、保存法、成分輸血、輸血副作用

コース #10 自己免疫系臨床

Coordinator: 住田 孝之

学習項目	Keywords
全身性エリテマトーデス (SLE)、Sjögren 症候群	subacute cutaneous lupus erythematosus、CSF Ig index、抗カルジオリピン抗体、抗リン脂質抗体症候群、免疫抑制薬、Keratoconjunctivitis sicca、sicca complex、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体、Pseudo lymphoma
RA、MRA、成人発症 Still 病	滑膜炎、サイトカイン、リウマトイド因子、診断基準、関節外症状、Steinbrocker 分類(病期、機能障害)、非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)、遅効性薬剤、若年性関節リウマチ
全身性硬化症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病 overlap 症候群、UCTD(分類不能症候群)	抗 topoisomerase I 抗体(抗 Sc1-70 抗体)、抗セントロメア抗体、CREST 症候群、Raynaud 現象、proximal scleroderma、sclerodactylia、間質性肺炎、scleroderma renal crisis、heliotrope 疹、Gottron 徴候、creatine kinase(CK)、抗 Jo-1 抗体、抗 nRNP 抗体、肺高血圧症
血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛、Behçet 病	壊死性血管炎、抗好中球細胞質抗体(ANCA)、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発動脈炎、Wegener 肉芽腫炎、Churg-Strauss 症候群、Henoch-Sch nlein 紫斑症、本態性クリオグロブリン血症性紫斑病、皮膚白血球破壊性血管炎、過敏性血管炎

学習項目	Keywords
頭部外傷	急性頭蓋内血腫、慢性硬膜下血腫、進行性頭蓋骨折、髄液漏、脳挫傷、脳神経損傷、治療
脳腫瘍	下垂体近傍および下垂体腫瘍、聴神経鞘腫、松果体部腫瘍、転移性脳腫瘍、神経膠腫
脳血管障害	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、高血圧、高脂血症、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、もやもや病、内科的治療、外科的治療、脳血管内治療
小児脳神経外科	乳児水頭症、頭蓋骨癒合症、spina bifida、頭蓋骨椎骨移行奇形、脊髄空洞症、治療
感染症、脱髄疾患	ウイルス性脳炎、亜急性硬化性脳炎、Creutzfeldt-Jakob 病、静脈洞感染症、HAM、髄膜炎、多発性硬化症、急性散在性脳脊髄炎、白質ジストロフィー
代謝障害、中毒、内科疾患に伴う神経症状	肝脳疾患、ポルフィリン症、アミロイドーシス、リポドーシス、ビタミン B 群欠乏症、薬物・重金属・CO・アルコール・生物毒素中毒、甲状腺機能異常、副甲状腺機能異常、糖尿病、尿毒症、癌、血液疾患、結合組織疾患
末梢神経障害、筋疾患	多発性ニューロパチー、Guillain-Barré 症候群、単神経炎、神経痛、絞やく性末梢神経障害、胸郭出口症候群、Charcot-Marie-Tooth 病、Dejerine-Sottas 病、進行性筋ジストロフィー、先天性ミオパチー、重症筋無力症、多発性筋炎、周期性四肢麻痺、筋拘縮症
変性疾患	Parkinson 病、Parkinson 症候群、Huntington 舞踏病、小舞踏病、アテトーゼ、捻転ジストニー、本態性振戦、脊髄小脳変性症、Shy-Drager 症候群、筋萎縮性側索硬化症、Werdnig-Hoffman 病

学習項目	Keywords
脂質代謝異常	カイロミクロン、VLDL、LDL、HDL、LCAT、動脈硬化
甲状腺疾患(内科)	T3、T4、Free T4、Free T3、TSH、T3 抑制試験、抗甲状腺剤
糖尿病	1 型糖尿病 (IDDM)、2 型糖尿病 (NIDDM)、インスリン療法、糖尿病性昏睡、慢性合併症
副腎疾患・診断と治療	Cushing 症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、adrenogenital syndrome、Addison 病
視床下部・下垂体疾患	TRH test、LH-RH Test、プロモクリプチン試験、メトピロン試験、ITT
乳腺疾患	乳癌の疫学、乳癌の診断、手術、乳癌の内分泌療法と化学療法、乳癌温存療法
甲状腺疾患(外科)	Basedow 病の治療、Plummer 病の治療、甲状腺結節の種類と診断の進め方、良性腫瘍と悪性腫瘍の治療方針
上皮小体疾患、頸部腫瘍	原発性上皮小体機能亢進症、続発性上皮小体機能亢進症、多内分泌腺腫瘍症 (MEN type1, type2)、上皮小体の部位診断法、上皮小体の手術法、頸部腫瘍の診断と治療 (先天性腫瘍、頸部リンパ節の炎症、癌の頸部リンパ節転移)

学習項目	Keywords
原発性糸球体疾患(1)	糸球体疾患の分類、臨床病型分類、組織病型分類、WHO 分類、臨床所見、検査所見、腎生検、治療法、予後
原発性糸球体疾患(2)	急性糸球体腎炎症候群、急速進行性糸球体腎炎症候群、反復性・持続性血尿、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、臨床病型と組織病型の対応
腎不全と血液浄化法	急性腎不全、慢性腎不全、代謝性アシドーシス、高K血症、腎性骨異栄養症、透析アミロイドーシス、血液透析、CAPD、血漿交換療法
続発性腎疾患	ループス腎炎、アミロイドーシス、糖尿病性腎症、紫斑病性腎炎、妊娠中毒症、腎硬化症、クリオグロブリン血症、骨髄腫、痛風腎
間質尿細管疾患と遺伝性腎疾患	間質性腎炎、尿細管性アシドーシス、アルポート症候群、良性家族性血尿症候群、多発性嚢胞腎
尿路性器腫瘍・副腎疾患	腎細胞癌、腎芽細胞腫、腎血管筋脂肪腫、尿路上皮腫瘍、膀胱腫瘍、腎盂尿管腫瘍、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫
尿路閉塞性疾患・神経因性膀胱・尿路性器感染症	水腎症、腎盂尿管移行部狭窄症、膀胱尿管逆流症、前立腺肥大症、神経因性膀胱、特異(非特異)的感染症、単純(複雑)性感染症、基礎疾患、腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎、STD、尿路性器結核
尿路結石症・男子不妊症・性分化異常・勃起不全・腎移植	尿路結石症、男性不妊症、性分化異常、半陰陽、ターナー症候群、クラインフェルター症候群、XX 男性、ED(勃起不全)、腎移植
泌尿器科的症候と検査・尿路性器奇形・尿路性器外傷	血尿、膿尿、混濁尿、無尿、乏尿、尿閉、多尿、頻尿、尿失禁、排尿困難、尿沈渣、直腸指診、腫瘍マーカー(AFP、HCG、PSA)、KUB、IVP、AP、RP、VCG、TRUS、UFM、UDS、嚢胞腎、馬蹄腎、重複腎盂尿管、尿道下裂、停留精巣、腎血管性高血圧症、尿路外傷、性器外傷

学習項目	Keywords
中枢神経系画像診断	脳腫瘍、脳血管障害、中枢神経系奇形、頭部外傷、CT、MRI
胸部画像診断	肺腫瘍、肺炎、間質性肺炎、縦隔腫瘍
腹部・骨盤画像診断	胃癌、結腸癌、肝癌、膵癌、血管造影、CT、MRI、腎癌、子宮癌、US
核医学診断	放射性医薬品、集積機序、脳血流、心筋、SPECT
放射線治療	放射線腫瘍学、集学治療、放射線効果の修飾
Laboratory Medicine (1)	尿検査、内分泌学的検査
Laboratory Medicine (2)	血液生化学検査、免疫血清検査
Laboratory Medicine (3)	血液・凝固検査・線溶系検査
Laboratory Medicine (4)	腫瘍マーカー、遺伝子検査
中毒と物理的要因	中毒総論、血液浄化法、特異的拮抗薬、メトヘモグロビン血症、CO、医薬品、農薬、自然毒

学習項目	Keywords
全身麻酔	ガス麻酔薬、揮発性麻酔薬、血液/ガス配分係数、最小肺胞濃度 (MAC)、静脈麻酔薬、ニューロレプト麻酔、完全静脈内麻酔、基本的モニタリング、麻酔事故
伝達麻酔の合併症	局所麻酔薬、局麻薬中毒、脊椎麻酔、脊麻後頭痛、脊麻後脳神経麻痺、高比重液、低比重液、硬膜外麻酔、反射性交換神経性疼痛、交換神経節ブロック、星状神経節ブロック、癌性疼痛、腹腔神経叢ブロック、くも膜下フェノールブロック
各種疾患患者の麻酔	高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心不全、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、糖尿病、甲状腺機能異常、副腎機能異常、肝硬変、低蛋白血症、腎不全、頭蓋内圧亢進、脳虚血、特発性血小板減少症、DIC、重症筋無力症、新生児、高齢者肥満、妊婦、心筋酸素需給バランス、低酸素性肺血管収縮 (HPV)、仰臥位低血圧症候群、Mendelson's syndrome
脳心肺蘇生法	一次心肺蘇生、二次心肺蘇生、AHA ガイドライン、脳蘇生、脳保護
腫瘍	がんの疫学、多段階発癌、転移の機序、転移の臓器特異性、付随症候群、遺伝子の病としてのがん、癌・間質相互作用、抗がん剤の作用機序、治療法とその評価
手術無菌法、基本的手術操作	滅菌法、消毒法、滅菌と消毒の違い、剃毛法、手洗い、CDC ガイドライン、止血 (止血鉗子、結紮法)、縫合 (持針器、撮子、縫合針、縫合糸、結節縫合、連続縫合)、縫合と吻合の違い、消化管吻合法
手術前後管理、手術合併症	手術前検査と全身状態の評価、手術前合併症と手術リスク、手術適応、手術前管理、栄養療法、手術後合併症、後遺症、創傷治癒、閉鎖式ドレッシング
外傷、熱傷、ショック	熱傷の病態と治療、ショックの診断と治療
顔面の再建	植皮 (分層、全層)、局所皮弁、遠隔皮弁、遊離皮弁、特殊な部位の再建 (眼瞼、耳介、鼻、口唇、舌、下顎)、機能の再建 (眼瞼挙筋、表情筋、顔面神経)
体表の再建	植皮 (分層、全層)、熱傷、悪性腫瘍、放射線障害、乳房再建、胸壁、腹壁の再建、外陰部再建
手の再建 (手の外科入門とマイクロサージャリー)	挫滅創、切断指再接着、手の奇形

学習項目	Keywords
小児科総論・消化器肝胆道疾患	胎児発育曲線、カウプ指数、発達里程標、TORCHES、IUGR、栄養所要量、母乳栄養、乳幼児健康診査、年齢別死因、急性乳幼児下痢症、胆道閉鎖症、新生児肝炎
小児の先天代謝異常・代謝・内分泌疾患	インスリン依存型糖尿病、小児肥満、低身長、成長ホルモン分泌不全性低身長症、体質性低身長、思春期早発症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成、くる病、新生児マスクリーニング、酸血症、高アンモニア血症、制限食、ライソゾーム酵素異常
新生児疾患、先天奇形	低出生体重児、small-for-dates 児、ハイリスク児、Apgar スコア、分娩外傷、呼吸窮迫症候群、未熟児無呼吸発作、壊死性腸炎、核黄疸、低血糖、メレナ、21トリソミー、18トリソミー
小児の感染免疫・呼吸器疾患・アレルギー	ウイルス、細菌、真菌、原虫、予防接種、原発性免疫不全症候群、T 細胞不全、B 細胞不全、クループ・細気管支炎、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎
小児の心疾患(先天性心疾患を除く)	川崎病、冠動脈瘤、リウマチ熱、感染性心内膜炎、小児の不整脈、先天性房室ブロック、先天性QT延長症候群、新生児持続性肺高血圧、NO吸入療法、プロスタサイクリン、隣接遺伝子症候群
小児の血液疾患・新生物	好発年齢、成人疾患との相違
小児の腎・尿路疾患、膠原病	小児腎疾患の分類、急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、小児の尿路感染症、尿細管アシドーシス、ファンコニー症候群、腎とカルシウム代謝、SLE、JRA
小児の神経・筋疾患	変性疾患、神経系感染症、小児の痙攣、脳性麻痺、精神遅滞、floppy infant、脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー症、先天性ミオパチー
小児画像診断の Minimum Essential	初期卒後研修、MUST(必須事項)、小児虐待

学習項目	Keywords
小児外科診断治療総論	小児新生児外科疾患の来院時処置、小児の検査、緊急患者の来院時処理、呼吸管理、栄養、感染、外傷
小児外科腹部疾患の診断と治療	肥厚性幽門狭窄症、胃軸捻、胃十二指腸潰瘍、消化管穿孔、腸閉鎖・狭窄、腸回転異常、メコニウムイレウス、胎便性腹膜炎、壊死性腸炎、Hirschsprung 病、直腸肛門奇形、腸重積、Meckel 憩室、腸管重複症、急性虫垂炎、痔瘻、胆道閉鎖症、胆道拡張症
小児外科胸部疾患および体表疾患の診断と治療	食道閉鎖症、肺嚢胞性疾患、横隔膜ヘルニア、食道狭窄、食道裂孔ヘルニア、気管軟化症、胸壁異常、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、臍瘻、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、精巣回転症、脊髄髄膜瘤、頸部リンパ管腫、甲状舌管嚢胞および瘻、側頸瘻
小児外科腫瘍の診断と治療	腫瘍性疾患の部位別分類、小児悪性腫瘍の特徴と診断手順、神経芽種、腎芽種、肝癌、奇形腫群腫瘍、横紋筋肉腫、血管腫、リンパ管腫、グループスタディ

学習項目	Keywords
Fetal Distress (胎児ジストレス) と分娩管理	胎児血 pH、acidosis、base excess、児頭採血、分娩監視装置、deceleration、分娩準備状態、分娩誘発法、oxytocin、prostaglandin、産科ショック
産科婦人科学概論	婦人科腫瘍学、周産期医学、生殖医学、女性医学
出生前診断と垂直感染	羊水穿刺、絨毛採取、胎児採血、超音波診断、母体血清マーカー試験、垂直感染、子宮内感染、産道感染、経母乳感染、HBV: hepatitis B virus、HCV: hepatitis C virus、HIV: human immunodeficiency virus、HTLV-1: human T lymphotropic virus type-1、TORCH: <i>Toxoplasma gondii</i> , <i>Treponeme pallidum</i> , rubella virus、CMV: cytomegalovirus、HSV: herpes simplex virus、parvovirus B19、VZV: varicella herpes zoster virus、 <i>Chlamydia trachomatis</i> 、Neisseria gonorrhoeae、GBS: Group B streptococcus、HPV: human papillomavirus、Candida albicans
個別的妊娠管理と合併症妊娠の対策	切迫流早産、前期破水、絨毛羊膜炎、妊娠継続の可否判定、胎児発育と成熟度判定、合併症の管理
不妊症治療の進歩	子宮内膜症、STD、排卵誘発、DDS、Laparoscopic surgery、ART (IUI、GIFT、IVF-ET、顕微授精)、子宮外妊娠、OHSS、多胎、減数手術、Preimplantation diagnosis、借り卵・精子、卵子・精子・胚の凍結保存、代理母、借り腹、クローン、ES細胞、環境ホルモン
子宮悪性腫瘍	SC Junction、予備細胞、扁平上皮化生細胞、核異常細胞、悪性細胞、異形成上皮、上皮内癌、浸潤癌、子宮頸癌の臨床進行期分類、子宮体癌の臨床進行期分類、手術療法、放射線療法、化学療法、Neoadjuvant chemotherapy
婦人科良性疾患	子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症、卵巣腫瘍、絨毛性疾患、子宮脱
卵巣悪性腫瘍	組織分類、画像診断、腫瘍マーカー、ホルモン活性、進行期分類、手術療法、化学療法

学習項目	Keywords
疫学・衛生統計	疫学概念、記述疫学・分析疫学・患者対照研究、コホート研究、介入研究、集団特性の把握、スクリーニング、疫学指標、人口動態統計、生命表
環境保健(1)	人間・環境系、生活環境、上下水道、廃棄物対策、住居・衣服衛生、量-影響関係、量-反応関係
環境保健(2)	環境基本法、地球環境保全、大気汚染、水質汚染、土壌汚染、騒音・振動、悪臭、環境行政、居住環境衛生、ダイオキシン、化学物質審査規制法、PRTR 法
産業保健	作業環境管理、作業管理、健康管理、衛生教育、労働基準法、労働安全衛生法、労働災害、許容濃度、管理濃度、産業医、THP
食品保健・国民栄養	食品衛生法、食中毒、細菌性・ウイルス性食中毒、自然毒、化学物質、食品添加物、食品の安全性、BSE、HACCP、国民栄養、栄養状態の評価、栄養所要量、栄養素、栄養摂取量、国民栄養調査
母子保健	出生、乳児死亡、新生児死亡、周産期死亡、死産、妊産婦死亡、母子保健法、児童福祉法、母体保護法、労働基準法、男女共同参画社会基本法、育児・介護休業法、母子健康手帳、養育医療、育成医療、健やか親子 21
学校保健	学校保健法、学校環境衛生、学校保健安全計画、学校保健委員会、学校医、保健主事不登校、自殺、いじめ、伝染病による出席停止、臨時休業、就学時健康診断、定期健康診断、学齢期の好発疾患
成人保健	生活習慣病、脳血管疾患、心疾患、悪性新生物、糖尿病、高血圧、リスクファクター、健康科学、健康増進・管理、健康教育、健康診断、地域保健法、老人保健事業第 4 次計画、健康日本 21、健康増進法、high risk strategy、population strategy
老人保健	高齢社会、老人保健事業、健康診査、機能訓練、ゴールドプラン 21、介護保険制度、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、地域リハビリテーション

学習項目	Keywords
精神保健福祉	精神障害の現状、地域精神保健、予防精神医学、精神保健福祉法、精神障害者福祉、アルコール・薬物の乱用と依存、薬物の法的規制
医療行政・制度	医療行政、医療制度、医療法規、医療施設、医療従事者、医療の評価、保健・医療・福祉の連携、国際保健
社会保障と医療保障	社会保障、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生、年金、医療保険、介護保険、国民皆保険、公費医療、国民医療費、医療費上昇の要因
法医学と関連法規(1)	医師法、死体解剖保存法、死亡診断書(死体検案書)、出生証明書、死産証明書(死胎検案書)、異状死体、監察医制度
法医学と関連法規(2)	親子鑑定、認知、母体保護法、遺伝相談、医事裁判、臓器移植法

学習項目	Keywords
臨床微生物学総論	グラム染色、細菌、真菌、ウイルス、マイコプラズマ、リケッチャ、クラミジア
臨床検体の採取法	血液、髄液、尿、喀痰、便
ウイルス感染症	抗ウイルス抗体、ウイルス抗原、遺伝子診断法、抗ウイルス薬
抗生物質の使用法	ペニシリン、セフェム、アミノグリコシド、マクロライド、テトラサイクリン、ニューキノロン、ポリペプチド
消毒と滅菌	物理的滅菌、化学的滅菌、ハロゲン系、アルコール、逆性石ケン
院内感染対策	空気感染、飛沫感染、接触感染、血液媒介感染症
寄生虫症の診断と治療	マラリア、カリニ肺炎、赤痢アメーバ、日本住血吸虫、アニサキス症、蟯虫症、抗寄生虫薬
重症感染症 (敗血症・髄膜炎)	検体採取、抗生物質
結核	塗抹、培養、PCR、抗結核薬、N95
HIV	エイズ、日和見感染、抗 HIV 薬

学習項目	Keywords
生殖医学	出生前診断・治療、人工受精、(非配偶者間)体外受精、男女産み分け、生育限界、人工中絶、生命の倫理、Surrogate mother
医と法	医師法、刑法、民法、医師・患者関係、インフォームド・コンセント、注意義務、患者の基本的人権、損害賠償責任
医療保険制度について	医療保険の仕組みについて、保険診療の実際について
医療事故について	医事紛争、医療事故の法的側面、インフォームド・コンセント、がん告知、日医保険、専門医学会保険など
医療の安全性	ヒューマン・エラー、ランダム・エラー、システムティック・エラー、スポラディック・エラー、教育、SOP、CRM
医療の有効性	Clinical Epidemiology、 EBM、 有害反応、費用便益分析、医療の質
臓器移植	器提供意思表示カード、脳死、臓器移植、異種移植、コーディネーター、臓器配分、愛
ターミナルケアのロールプレイ 1	ターミナルケア、QOL(Quality of life)、告知
ターミナルケアのロールプレイ 2	スピリチュアル・ペイン

## 6. 臨床病理検討会(CPC(2))

### 6.1 一般学習目標(GIO)

Phase IV の GIO の 11,12 に同じ

### 6.2 学習方法

- 1) 病院主体の activity の一つとして行われ、学生はこれに参加する。
- 2) したがって内容の level は、教官、レジデントを対象とした高いものとなる。
- 3) 臨床講義室 A において第 2 学期第 5、6 年次を対象として、水曜日の 6 時限に行われる。  
9 月 22 日      10 月 20 日      11 月 17 日      12 月 8 日

### 6.3 学習内容

症例等については約 1 か月前に提示される。

### 6.4 評価

総括試験、総合試験

# 卒業試験

## 1．卒業試験の目標

医学専門学群の卒業時点での到達目標は、基本的臨床能力及び基礎的研究能力をそなえた医師である。この目標に向かって学生は、人間個体・地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識、技能及び態度・習慣を身につけることが要求されている。卒業試験は、この達成度を評価することを主目的とするものである。

## 2．出題範囲

試験の範囲は医学専門学群の専門教育科目全体である。

出題は基礎医学(ヒトの構造と機能からヒトの正常と病態)、社会医学(ヒトの正常と病態から臨床実習)、臨床医学(ヒトの正常と病態から臨床実習)の全領域。

## 3．試験方法

試験は総合試験と、総括講義の各コースに対応する総括試験の2つに大別される。

## 4．試験日程

別に定める時間割表のとおりである